

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	観光ビジネス論 I	(NGH22G)	
講義名 (コード)	観光ビジネス論 I	(NGH22GX)	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	石田浩也	時間数	30
成績評価教員	石田 浩也	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	日本の産業やビジネスを理解し、自分自身の職業選択や職業人生を前向きに邁進できる知識を身につける。
全体的内容と概要	日本全体と長野県を中心に、地域の産業の共通点や相違点について習得する。
授業時間外の学修	授業内で発表準備が間に合わないときはホームワーク
履修上の注意事項等	授業での言語は原則日本語で実施するため、ヒヤリング出来る程度の日本語学力が必須

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	出席率60%以上で期末試験受験者を対象とする。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	授業内容の理解	【オリエンテーション】講師自己紹介・生徒自己紹介カード作成
2	日本伝統工芸を理解できる	長年に亘り受け継がれた技術や技が用いられた美術や工芸を知る
3	日本の観光を理解できる	日本の観光、長野県内の観光を知り、実際に体験した観光先の発表をする
4	日本の観光スポットを理解できる	日本全国の観光合うポットランキングや長野県の移住について知る
5	“長野”のトリセツを作る事ができる	【資料作成】長野に纏わる取り扱い説明書“トリセツ”の資料を作る
6	“長野”のトリセツを発表する事ができる	【プレゼン発表】各自作成した“トリセツ”のプレゼンをする
7	和室のマナーを理解できる	和室のマナーや畳の上の歩き方、上座・下座を知る
8	季節を楽しむ“ならわし”を理解できる	日本の祭りや行事や、四季の楽しみ方、日本の旧暦を知る
9	時代に寄り添った企業努力を理解できる	マクドナルドを例にとり、長野の地域観光産業がどのような企業があり、どのようなことをしているか調べる
10	自分の特性を知ることができる	グループワークをするにあたり自分の特性を知る
11	【グループワーク】 ミッションを理解し、考える事ができる I	ご当地“ナガノカフェ”をチームで考える。
12	【グループワーク】 ミッションを理解し、考える事ができる II	チームで考えた事をまとめて破票する。
13	期末試表準備ができる	テスト用プレゼン資料作成
14	期末テスト	テスト実施
15	テスト内容フィードバック	テスト内容に関するヒードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	特になし
参考文献・資料等	日本のしきたり入門、長野県の大正解、大人のための歴史と経済の教科書 等
備考	